

食の未来づくり運動

私の宣言

食材は無駄にせず、使えるものは皮から丸ごと使うようにする!!
 (大田区 ペンネーム：たあちゃん)
 フードマイレージを考えること、買い過ぎや食べ残しをしないことを継続。
 (杉並区 ペンネーム：まめこ)

- 1 食料自給率の向上**
 - 2 日本の農業を元気に**
 - 3 持続可能な社会に向けて**
- 1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

北海道の大地と共生する「資源循環型畜産」登録 北里八雲牛

現在、日本では飼料の多くを海外から輸入しています。これは飼料自給率を低下させるだけではなく、海外から余剰な栄養素を持ち込むことになりま。輸入穀物を食べて育った牛の排泄物からできた堆肥を土に還すことは、土壌の栄養成分に大きな偏りを生み、余剰な成分が土壌から河川に流れ出すと、周囲の生態系に大きな影響を及ぼします。北里八雲牛は100%自家で育てた牧草を牛が食べ、その牛の排泄物を堆肥にし、放牧地に還元することで、次の年の牧草が育っています。資源が牧場内で循環することで、環境が守られます。自給率100%を実現しながら周囲の環境にも影響を与えない、牛にも自然にも優しい。これが「資源循環型畜産」北里八雲牛なのです。



登録方法

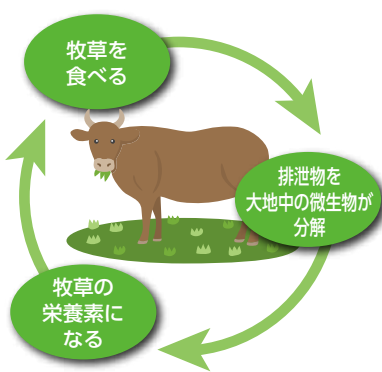
118702 限定2,000点
 登録 北里八雲牛セット(受付)
 1セット2品 **2,615円**(税込2,824円)
 限定数を超えた場合は抽選となります。抽選の結果は、3月1回の「東都生協からのご案内」にてお知らせします。 **凍国産応援**

お届け

初回お届けは**3月4回**です。
 以降8月4回まで、**毎月4回週**にお届けします(計6回*)。
 ※「取り消し」のお申し出がない場合は「自動継続」となり、9月4回以降も毎月4週に商品をお届けします。
 ※既に登録している方は「自動継続」となり、新たに申し込む必要はありません。
 ※登録後、外出などで受け取りが難しい場合、お届け曜日の1週間前までにコールセンターへご連絡ください。

- 産地** 北海道ふたみ二海郡八雲町
- 生産者**
- ①北里大学獣医医学部 フィールドサイエンスセンター八雲牧場
 - ②北里八雲牛生産組合(八雲町)

北里八雲牛の味わいどころ	
飼育場所	・夏期(5~11月)は放牧 ・雪の降る冬期は牛舎
えさ	地元・八雲町産飼料100%
肉質	・脂肪が少なく、赤身が多め ・しっかりした食感で、噛むほどに旨みを感じます



資源循環型畜産

東都生協2030年ビジョン(第1次案)が決まりました

Tohto co-op 2030 Vision 食と農の感動体験を通じて、みんなの未来をシェアさせていただきます。

みんなの期待がカタチになりました。

第1回2030ビジョン策定委員会が2020年の7月にスタートしました。構成メンバーは、理事長を座長として、組合員委員4人(組合員常任理事2人、組合員理事2人)、職員委員5人(役員推薦)の計10人です。

毎月の策定委員会では、先輩組合員や生産者から、東都生協設立に込めた願いやこれまでの歩み、食と農を取り巻く環境の変化やSDGsが目指す世界などを学びました。一方で、メンバーは3チームに分かれ、多様な調査活動から得た「10年後の東都生協に期待すること」「一緒にできること」など、総代をはじめとした多くの組合員、若手の生産者や全国の取引先、各現場で働く職員からの「声」、合計2,499人分を集めました。

これらの声をていねいに紡ぐ作業の中で、2030年を想像し、東都生協の存在価値と未来にこうあってほしいと望む行動を示す2030年ビジョンにまとめ上げ、第1次案として提案、2020年12月の理事会で承認されました。



総代の「声」も集めました(第1回総代会にて)

今後の進め方 第1次案は議案として提出し、3月の総代会で検討され、6月の総代会にて承認を受けます。

今月のつづき 昨年の今ごろあたりから、新型コロナウイルスが流行し、「コロナ!コロナ!」の日々。私たちの日常はすっかりと変わり、新しい生活様式の中で迎えた早春。「春よ来い、早く来い…おんも(外)へ出たいと待っている」の歌に出てくるみよちゃん同様、コロナの収束(本当は終息がいいけれど)と温かい春の日差しが待たれます(H.K.)。

お問い合わせ 組織運営部
 ☎ 03(5374)4756
 月曜～金曜：午前9時～午後4時
 E-mail: kumikatsu@tohto.coop
 〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階